

# やきものだからこそできる表現 とは何なのか

## 「齋藤敏寿の茶室 熔結 The adhesion of melt」に寄せて

層になった格子状の面が、鉄の支えを得ながら、組み合わせることでバランスを取り、自立するオブジェ。陶で出来た格子状の面は蕩けきってどろどろとしたところもあれば、丸みを帯びたところ、くっきりとした形状を留めたところもあり、実にさまざまです。全体は黒色っぽい光沢を帯び、ところどころ冷たい銀色の光が放たれています。やきもの＝器という先入観にしばられると、このインスタレーションが一体何で出来上がっているのか理解することは難しいかもしれません。

これまで、やきものだからこそできる表現を追求してきた齋藤が、四畳半の茶室空間に提示したのは、素地（土・粘土）を焼成する際に物質が“熔ける”という現象に焦点を当てたインスタレーションでした。窯の中に入れられる前、素地は、コバルト、マンガンが練り込まれた土でかたかが作られ、その上に釉薬が施された状態で、粘土、長石、珪石、鉄、コバルト、マンガン等々、たくさんの造形要素が混在しています。これが熱で熔かされ、結合し、重力にしたがって変容してゆくのです。齋藤は、窯の中でのこの出来事を“熔結”と呼んでいます。

高校から大学時代の初めまで油画を学んでいた齋藤は、自分が完成だと決断するまで絵を描き続けなければならないことに悩み、新たな表現手段を模索するなかで陶芸と出会います。このような経緯を持つ齋藤にとって、作品を完成させるまでに焼成という作家の手を離れる時間があることや、その時間に生まれる表現としての“熔結”は、魅力的であり、やきものらしさを強く感じさせるものでした。

「でもね、“とける”ということは人間の文明の発達全般にも大きく関わっているでしょう？」

昨年秋、展示の打ち合わせを兼ねて、筑波大学内の制作現場を訪ねた時、齋藤はそんなことを話してくれました。この時の齋藤の言った“とける”は、熱で熔けるだけでなく、薬品など、いろいろな力によって“とける”ことを意味していたのだと思います。たしかに、やきものに限ったことではありません。例えば、CPUやICチップの製造には溶接や腐食といった材料を溶かす工程が含まれていますし、合成樹脂、化学繊維製品も溶けた状態からモノを成形していきます。こうやって考えてみると、“とける（熔ける・溶ける・融ける…）”ことは、どの時代においても、人間社会のかたちあるモノの成り立ちを陰で支えている気がしてきます。

「茶室という場にて 社会にある不条理とこれからの未来を想像して生きていることの意味を考え、傲慢さやあやまち、自身の無力さを認識し立ち止まり、様々な考えを享受してモノとコトを思考する場となれば幸いである」<sup>注</sup>

そう語る齋藤は、土が陶へ変化する過程で現れた“熔結”を提示することで、その向こうに見える社会とつながり、思考する場としての茶室空間を創り上げたのです。

さて、この展示室の奥にはバルコニーがあり、そこにはもう一つのオブジェが存在感を放っています。「archetype79911」

と名付けられたこの作品は、人類が持つDNAや様々な物事（動物、植物、遺伝子、物質、分子、原子、クオーク等）に共通するかたちの“アーキタイプ＝元型”のようなものがあるのではないか？、というコンセプトで作られた齋藤の代表的なシリーズの一つです。普遍概念という怪物が形を与えられて、今にも動き出しそう、そんな感じがします。

大きくうねる陶のオブジェは決して軽やかではなく、重たいものが重たいままに躍動し、鉄の補助があるとはいえ、いくつかの尖った先端部分だけでその重さを支えているため、恐ろしささえ呼び起こします。陶は鉄と絡みながら自分自身を制限することなく、あるがままで見事に重力から解放されているのです。

さらに観察すると、この複雑なかたちは複数のU型のブロックで構成されていることが分かります。齋藤はハンモックを利用して成形したと語っており、その正体は、作家が思い通りに作ったかたちではなく、粘土自身の重みによる自然な曲面、曲線の集合体であるといえます。

私たちの目の前に実在する齋藤のオブジェはどれも、表象としての陶、すなわち私たちが陶とはこうあるものだと思い描く姿をいとも簡単に裏切って見せます。この心地良くもある実在と表象の乖離は、作家が土の特質と物質変容を思考して立ち上げたかたちの結果であり、陶芸とは何なのかを鑑賞者に改めて問うモノなのです。

注）齋藤敏寿「熔結 The adhesion of melt」  
（茶室展示リーフレット）

潤田恵子（当館専門学芸員）



中央「archetype79911」1997年、寸法：幅180.0×奥行180.0×高225.0（cm）、素材：陶/鉄  
左右「熔結81021」（部分）2018年、寸法：幅140.0×奥行234.0×高132.0（cm）、素材：陶/鉄